

曹全碑



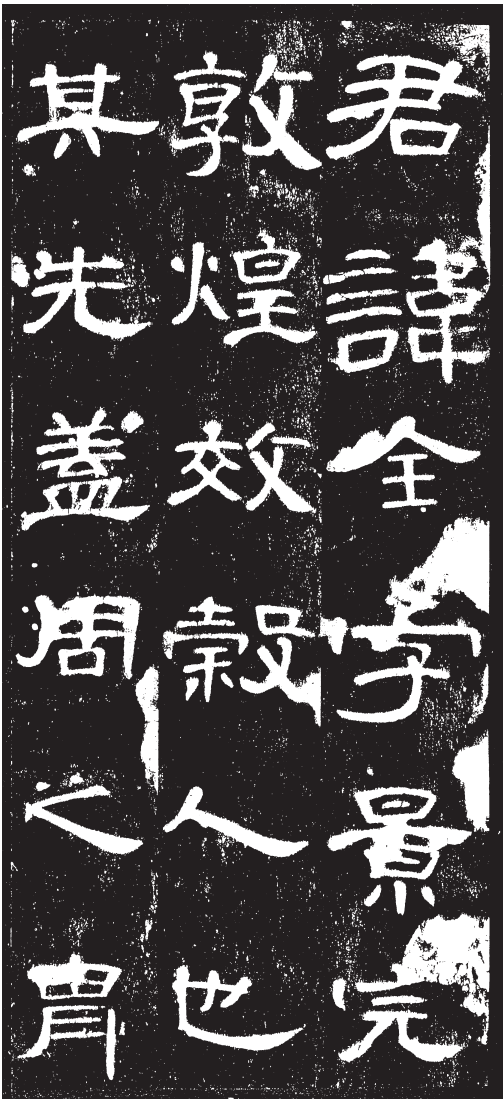
君諱全。字景完。敦煌效穀人也。其先蓋周之胄。
君諱いみなは全ぜん、字あざなは景完けいかん、敦煌效穀とんこうこくの人なり。其その先せんは蓋けだし周しゅうの胄ちゅうなり。

条幅臨書部は半紙臨書部と連動
しています。半紙に取り組んだ
方は是非条幅にもチャレンジし
てください。また条幅だけ出品
も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「〇〇臨」と調和を
工夫し書き入れる。

▽出品料五二五円。



◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A

鈴木静村書

風搖翠雨香浮席 月送金波影入簾 (王雨)
 風は翠雨を揺るがして香席かうせきに浮かび、月は金波を送って影簾かげれんに入る。



B

高橋香樹主幹書

揺 旁の崩し方、字典を参照のこと。翠 終画は長く伸ばし効果的に。浮 墨継ぎ。席 字幅を。送 之繞を伸びやかに。金波 渴筆線の部分、有効に活かして。影 墨継ぎ。旁 〃〃 意連に留意して。簾 下辺は古典では 〃〃 (四つの点) が多い。



今回は顔真卿の楷書の仿書としました。顔真卿の楷書の特徴は明確で、ハネと右払い以外の楷書とはかなり異なります。構えは向勢で、特に縦画は線の中程で力を加えます。横画はすべり込むような起筆とは違い、上から筆を落とすといった書き方です。縦画よりは細い線となっています。
 訳：風は雨にぬれた青葉を吹き動かし、その香りが座席までただよい、月は美しい光を降らせて、すだれを照らしている。

予告 (十二月二十二日締切)

月色横分窓一半

秋聲正在樹中間 (陸游)

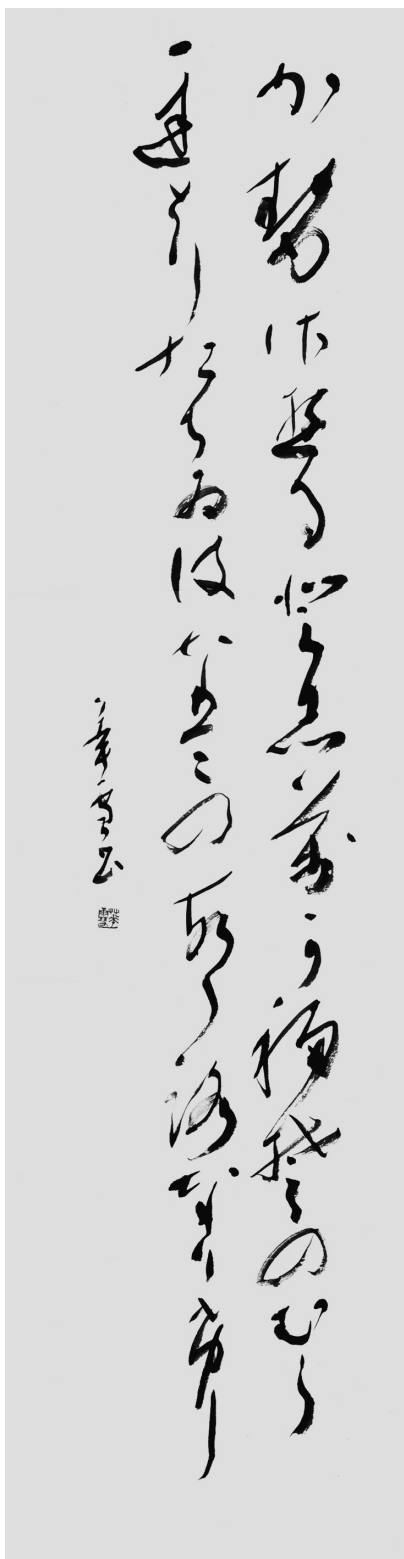
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

A

平岡華雪先生書

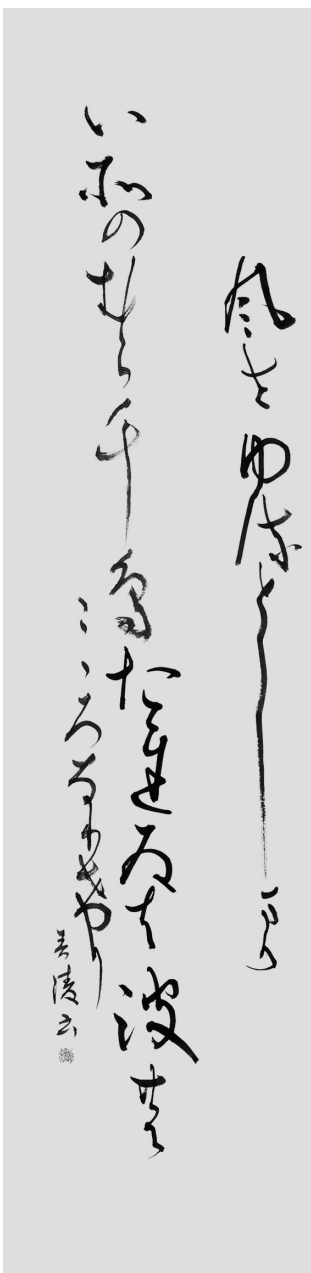
風さゆるとしまが磯のむら千鳥たちるは浪の心なりけり(新古今和歌集 正三位季経)
か勢佐遊る登志萬可移楚のむら遅とりたちるはな三の故路なり希り



B

武井春凌先生書

風さゆ流とし万可い所のむら千鳥た遅る者波農こゝろ奈利希り



新古今和歌集

正三位 藤原季経

非参議正三位に至る。建

仁(一一二〇)年に出家。

法名は蓮経。治承二(一一

七八)年「右大臣家百首」

など、多くの歌会、歌合に

出詠。建仁三(一一一三)

年「千五百番歌合」では判

者のひとりとなるなど、兄

の清輔の没したのち、歌道

家六条家の勢力維持に努め

た。

学び方

歌意―風の寒いとしまが磯の群千鳥は、飛び立つのも磯にいるのもすべて波の心のままであることだ。

屏風絵から風や波の動きを感じとり独自の世界を歌として作り上げているところが面白い。

三行書としました。一行目の最初の文字「風」をやや小さめに書き出し、二行目との余白を広く取り、「千鳥」で

渴筆とし、「た遅る者波」で墨を多く、三行目はやや小振りに書いてみました。

予告

(十二月二十二日締切)

雪ふれば冬こもりせる草も木も春に知られぬ花ぞさきける(古今和歌集)

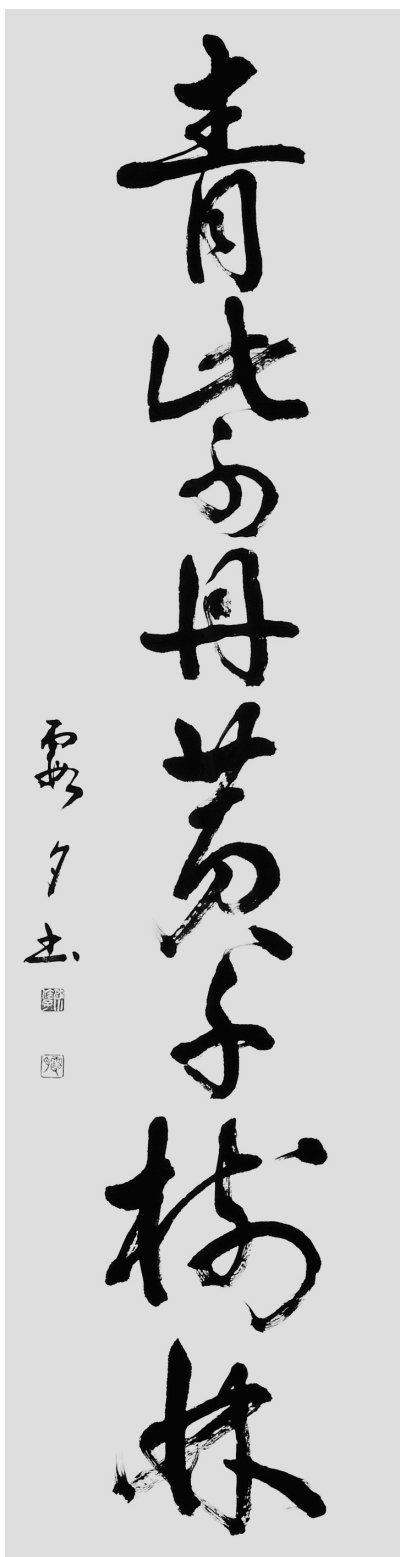
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目が数字を記入する。出品料525円)

条 幅 部 随 意 参 考

外川霞夕先生書

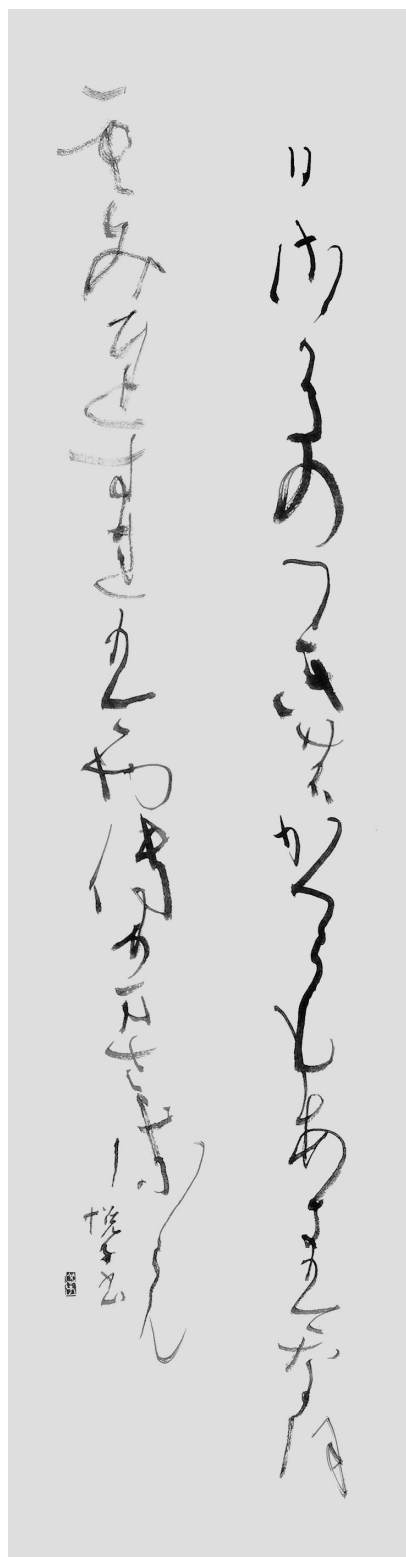
青紫丹黄千樹林（劉宋嗣）
せいしたんこうせんじゅ はやし
 青紫丹黄千樹の林。



訳：青や紫や赤や黄に色々の秋の林となった。

長野悦子先生書

久方の月の桂も秋は猶もみぢすればや照りまさるらむ（古今和歌集 忠岑）
ひさかたのつきあきにつらもあしばんなほもみぢすればやてりまさるらん
 日佐可多のつき農かつらもあ支盤な保毛み遅す連盤や傳利万さ流らん

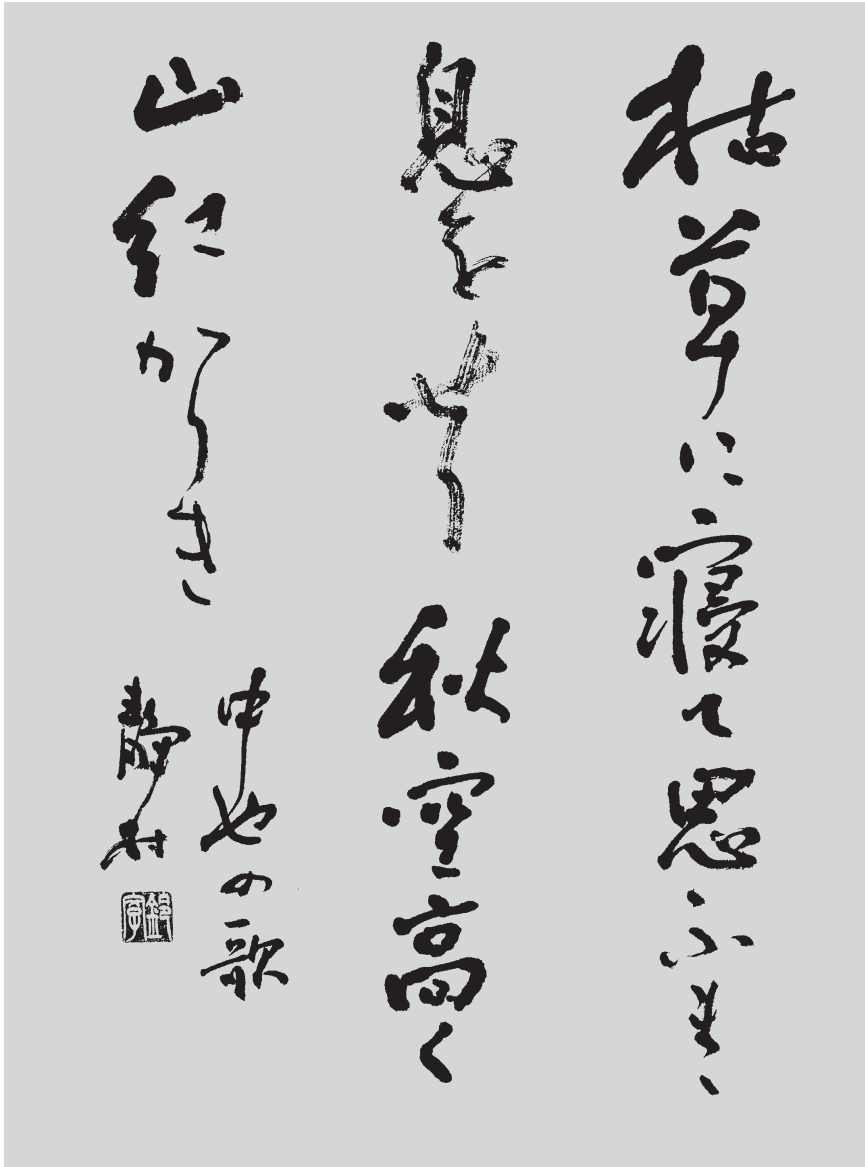


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料525円）

鈴木静村書

今回は三行の行書き。一行目、初句滲みが出する程度。字詰めは「ま、」までが適切。二行目が主調。三行目と四行目、濁と潤へ墨継ぎ。三行目(結句)すっきりと締めたい。
落款—二行に分けた形。

中也の歌 署名(号)として「書」を省き、
署名印 「印」を押す。

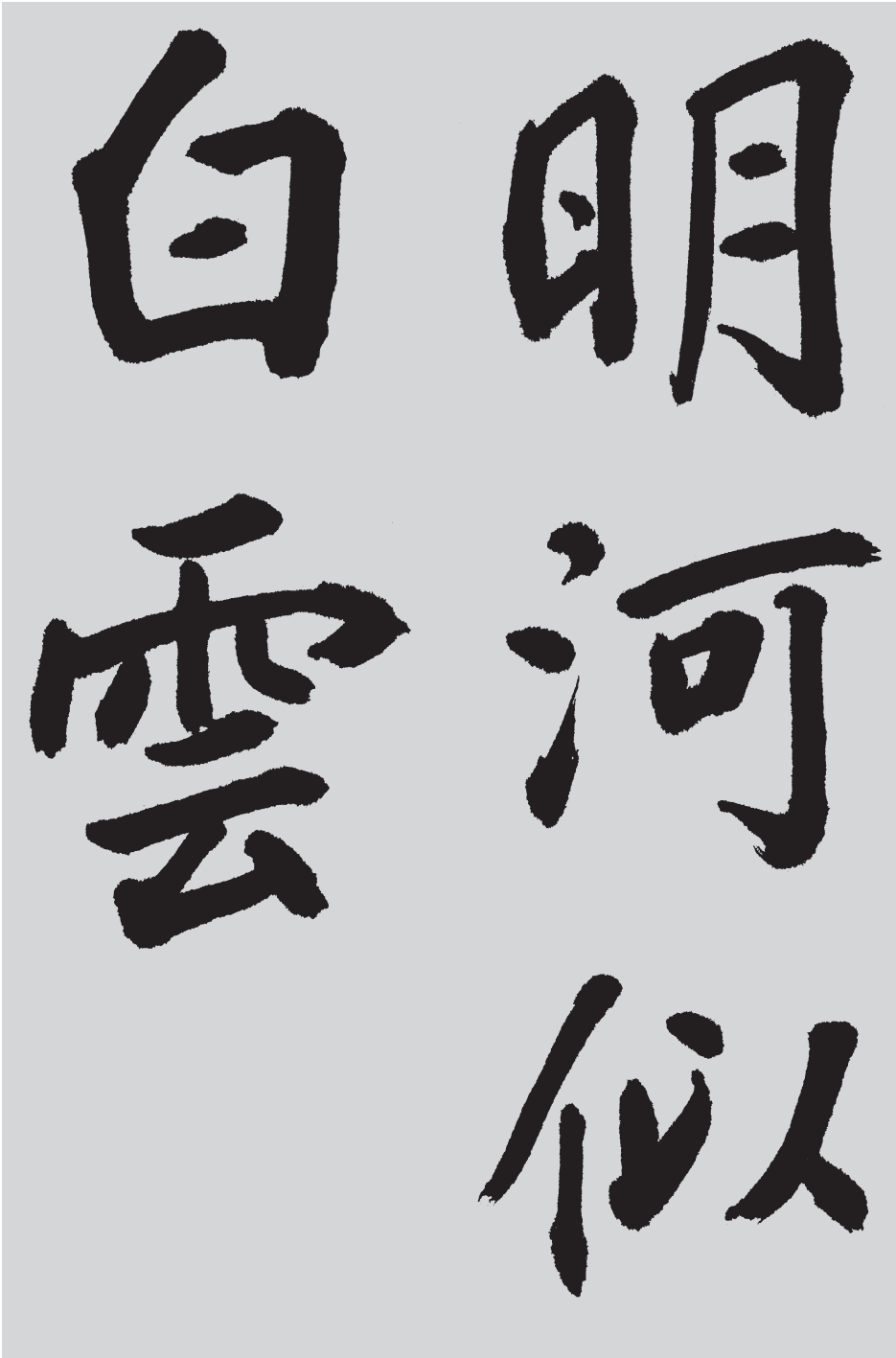


枯草に
寝て思ふまゝ、
息をせり
秋空高く
山紅かりき

なかほらちゅうや
中原中也 1907～1937
詩人。山口県の人。
抒情的で透明な独自の詩境を開いた。
著者に「山羊の歌」「ありし日の歌」など。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料525円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

明河白雲に似たり。(璣徐)
 訳：天の川は白雲が流れるのに似ている。

〈点画のつけ・はなし(接筆)〉
 小学校では、点画はきちっとつけないと注意をうける。華雪先生は「放ち」が多い。ですから、窓が開いて明るく涼しい。接する場合も、浅く接している。「雲」の第四画のタテ画は、わずかな空きがある。五・六画も深くは入っていない。「河」三画目鋭く。「白」四画目太く、短く。

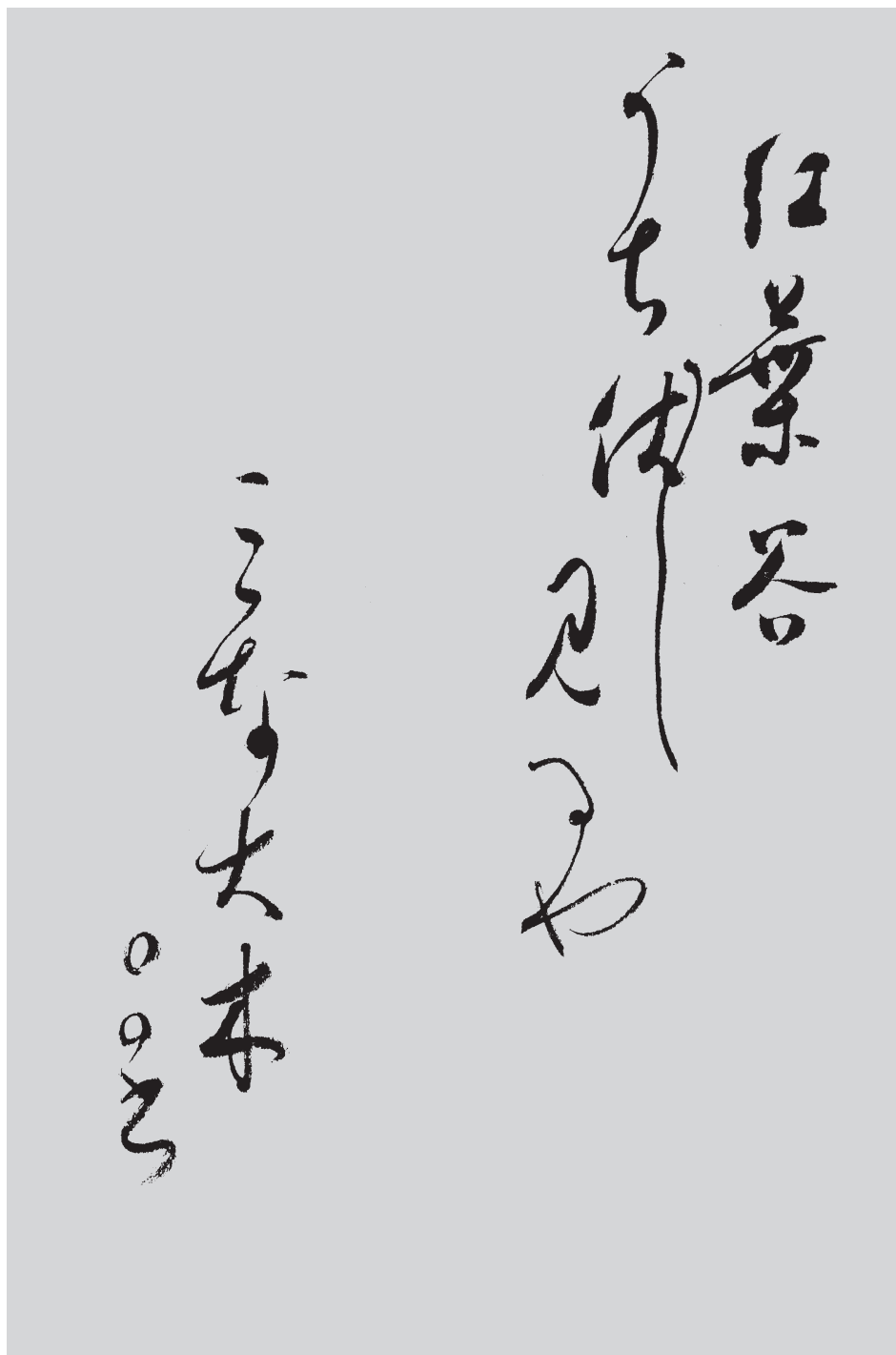
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

紅葉谷打伏し見るや皆大木（虚子）

紅葉谷うち伏し見るや三な大木



〈習熟連綿線に向けて〉

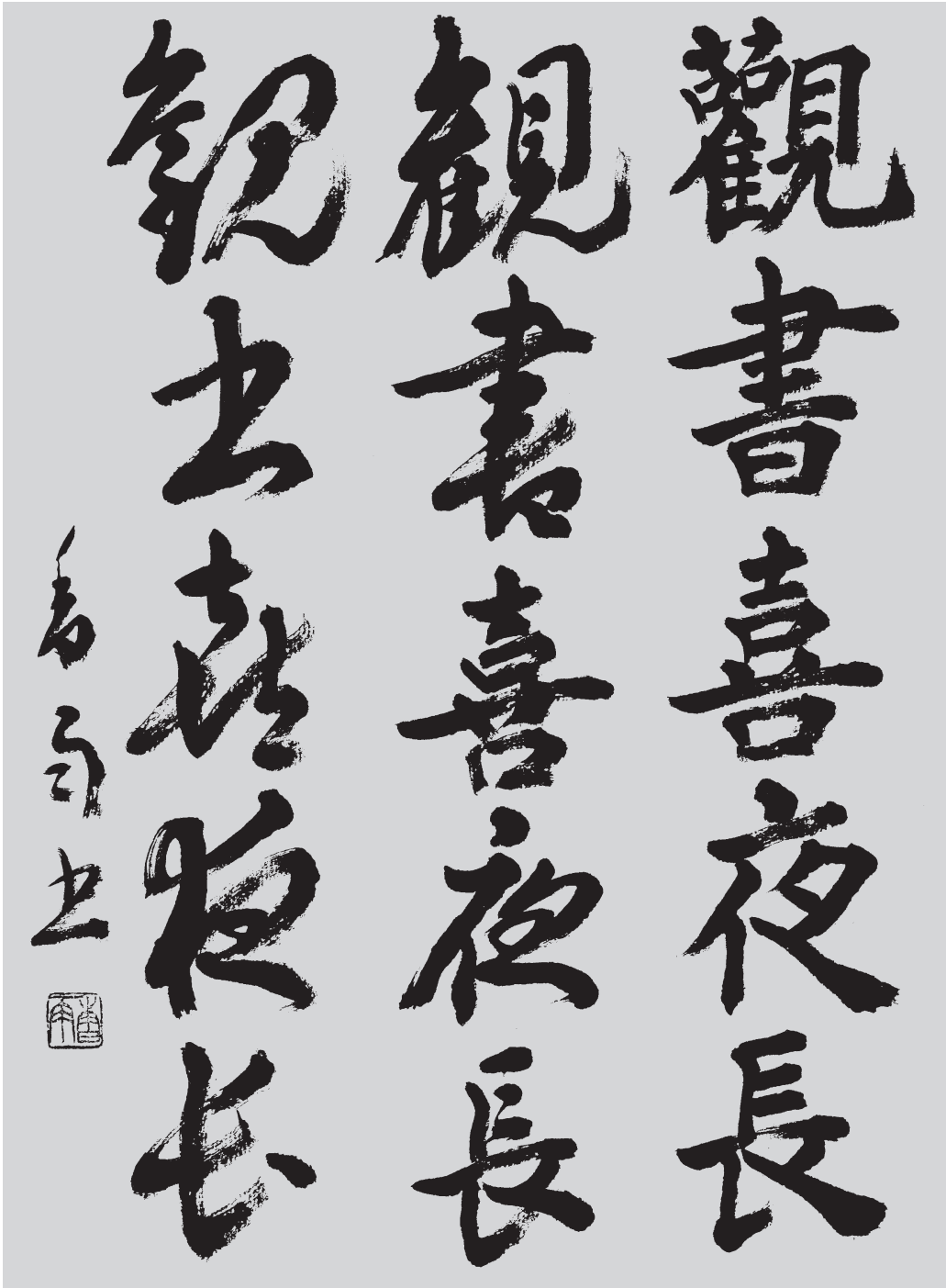
この課題には変体かなは「三」のみ。ただ、連綿用筆が多く使われています。「うち、伏し、るや、三な大」初歩段階の人には、基礎連綿として格好の習熟課題と取って取り組むことです。単に「形」だけでなく、「活き」た連綿線を表出することです。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

酒井香雨先生書

觀書喜夜長（劉溥）
觀書夜の長きを喜ぶ。



訳：読書には冬の夜の長さがよい。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

一字書参考

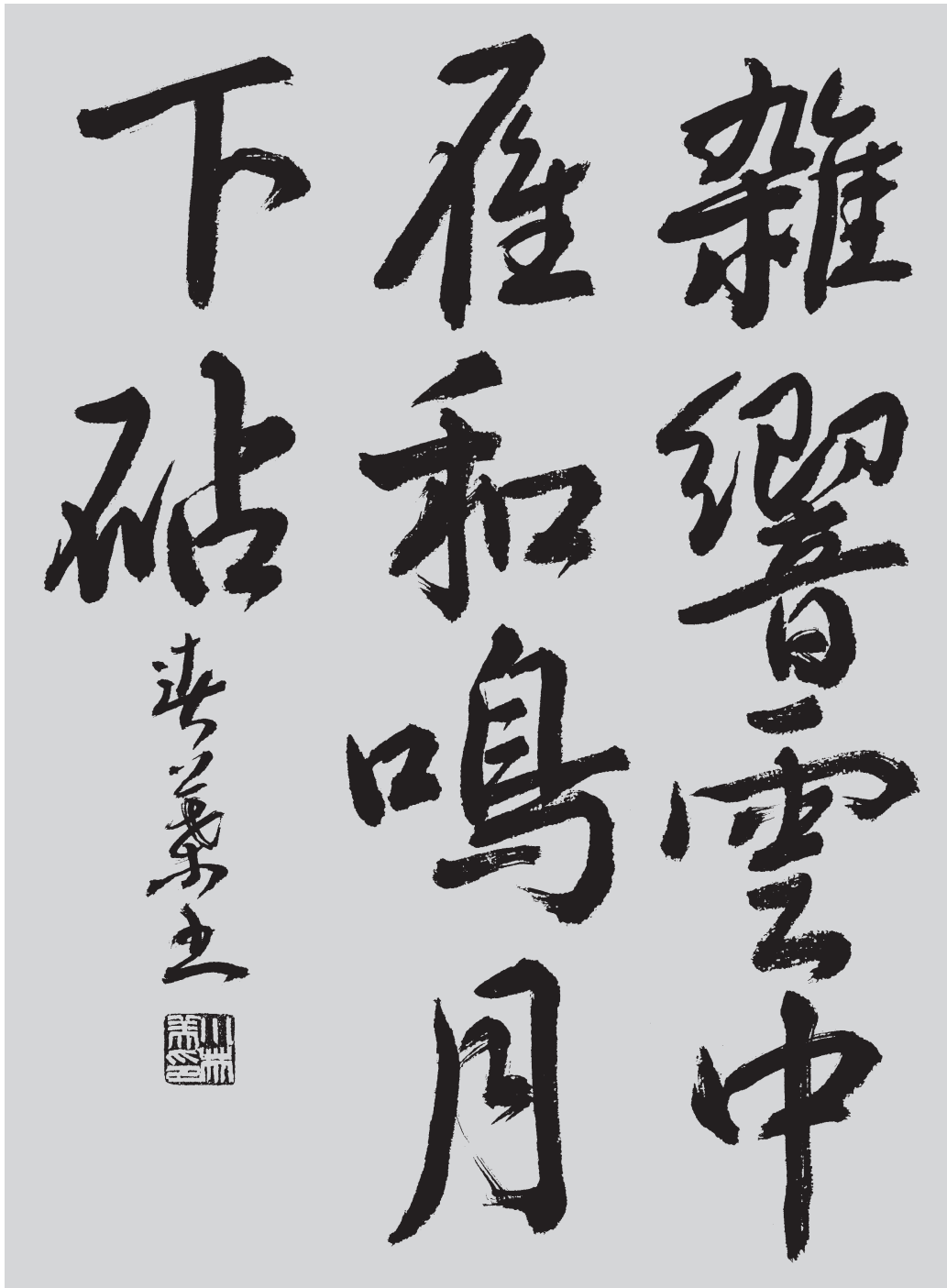


高橋香樹主幹書
楽

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

小林春葉先生書

雜響雲中雁 和鳴月下砧 (區大相)
雜響雲中の雁、和鳴月下の砧。

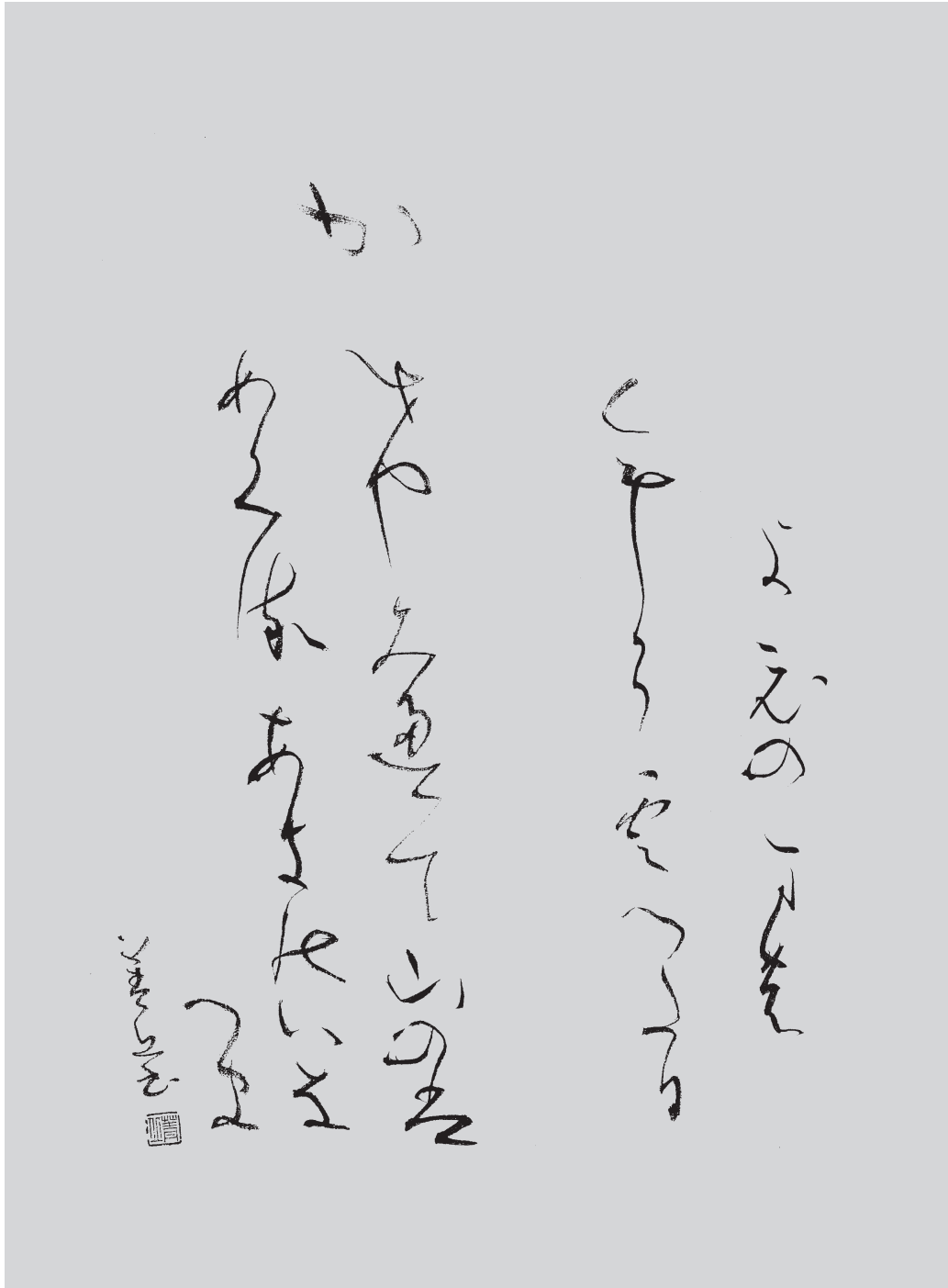


訳：雲中を飛びゆく雁は互に鳴きあい、月下に打つ砧は互に和しあって響くのである。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

随 意 部 参 考

北島菁丘先生書



宵の間のむら雲つたひかげ見えて山の端めぐる秋のいなづま (玉葉和歌集 伏見院)
よ飛の万農牟ら雲つたひかげ見えて山の端めぐる秋のいなづま (玉葉和歌集 伏見院)

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

雄々しい岩峰と、その間隙に光る
純白の雪。これほどアルプス的な力強い
構図は他に類がない。

雪の上のテントで明けた翌朝は無風
快晴、勇躍して中ノ岳の上に立った。
そこからの展望は、越後じゅうの山々が
悉く見えたとっても過言では
ない。

正教授 創作部門(自運作品、自由形式、硬筆用紙使用)で出品。審査料九四五円

課題1 (初段階以上)

雪の上のテントで明けた翌朝は無風快晴、勇躍して中ノ岳の上に立った。そこからの展望は、越後じゅうの山々が悉く見えたとっても過言ではない。「日本百名山」魚沼駒ヶ岳

深田久弥

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (4) 会員は無料・会員外は四二〇円

課題2 (初段階以下)

雄々しい岩峰と、その間隙に光る純白の雪。これほどアルプス的な力強い構図は他に類がない。

「日本百名山」剣岳

深田久弥